



物部川源流の森で樹木調査活動 ～自然の力を利用した森の再生作業～ 参加者募集

主催：物部川21世紀の森と水の会

森の機能を考える時、持続可能な森林、林業の維持・増強は、私たちみんなの願いです。しかし今、増えすぎたシカによる森林環境への負荷は予想以上に深刻な状態となっています。

人工林伐採後、シカ防護ネットに囲まれて11年、別府・物部川ふれあいの森には、タラノキなどの先駆樹種（陽樹）や分布域の広いリョウブやエゴノキなどにまじって、いわゆる陰樹と呼ばれる将来的に極相林へと成り得る有用樹種が何種類も生育しています。

それらのほとんどが、この地の環境条件に耐え、芽吹き、根を張り、成長しはじめた実生（自然生え）の木々たちです。このまま放置しておいても、時間と共に二次遷移（植生遷移）が進み、やがてそれなりの森になるでしょう。

しかし、森の成立を自然にゆだねるだけで良いのでしょうか。

人間が少しだけ手を加えることで、植生遷移の時間軸を短縮させ、質的により良い方向へと進めることができるはずで

す。私たちはそういった観点から、これまで有用樹種を選木して残し、それ以外の雑木をノコギリや剪定バサミで伐って整備し、両者に成長差をつけることで豊かな森へと導く、新たな造林手法に取り組んでまいりました。

今回の活動は、その成果をみる調査と11年間手つかずの自然林を手入れする森づくりの実習です。

今日的課題となった二ホンジカの食害被害を前提にした森の再生、有効な再造林のあり方を、現場に立ち、いっしょに考えてみませんか。参加ご希望の方は、下記をご参照にお申し込み下さい。



2014.09.15 樹木調査風景

開催日時：平成27年6月7日（日）

◇◇◇ 募集定員：20名程度 ◇◇◇

活動場所：香美市物部町別府 別府・物部川ふれあいの森（別府山国有林52林班と1小班）

集合場所：香南市 野市町大谷（旧）野市町立運動公園事務所前に7：50集合 ⇒ 8：00出発

※※※ 集合場所の位置は、県立のいち動物公園入口手前（左折する所）の下段駐車場です。

ジャンボタクシーほか車乗り合わせ 現地到着9：40頃～活動～17：00野市着

活動内容：①樹木調査（標準地）自然力実感！有用樹種を覚えよう！胸高直径・樹高測定など

②森づくりの実践 自然力・種の戦略実感！森の成立を想像・達成感を味わおう！

自然放置11年の植生調べ（有用樹種選木残し&支障木樹種毎カウント作業）

持ち物・服装ほか

- ・山は傾斜がありますので、滑らない靴、防寒対策着衣。持ち物は、お弁当・飲み物等です。
- ・ノコギリほかの道具類・測量機材・ヘルメット・手袋などはこちらで構えます。

申し込み・お問い合わせ 平成27年6月5日（金）までに下記までお申し込み下さい。

（担当：常石）☎：090-4784-5707 メール：mori_kawa_tune@yahoo.co.jp

※この活動は、平成27年度緑の募金公募事業の認定をいただき実施しているものです。

緑の募金にご協力を！

